



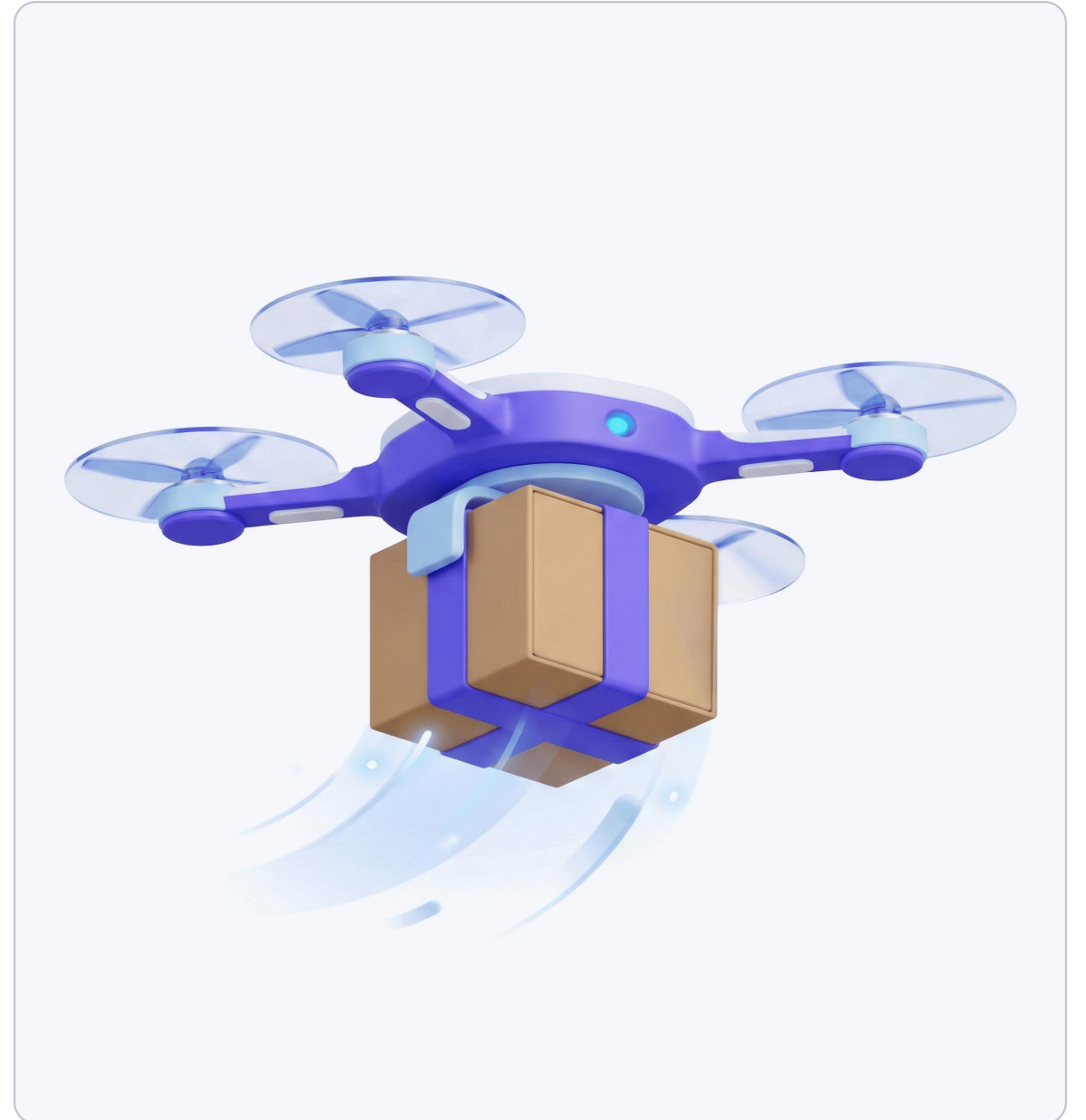
自動化物流

Autonomous Logistics

コスト削減と配送時間の短縮

Tasha Keeney, CFA
(ターシャ・キーニー)
投資分析ディレクター
兼リサーチ・ディレクター
自動化テクノロジー&ロボティクス
分野担当

Daniel Maguire , ACA
(ダニエル・マグワイア)
リサーチ・アナリスト
自動化テクノロジー&ロボティクス
分野担当



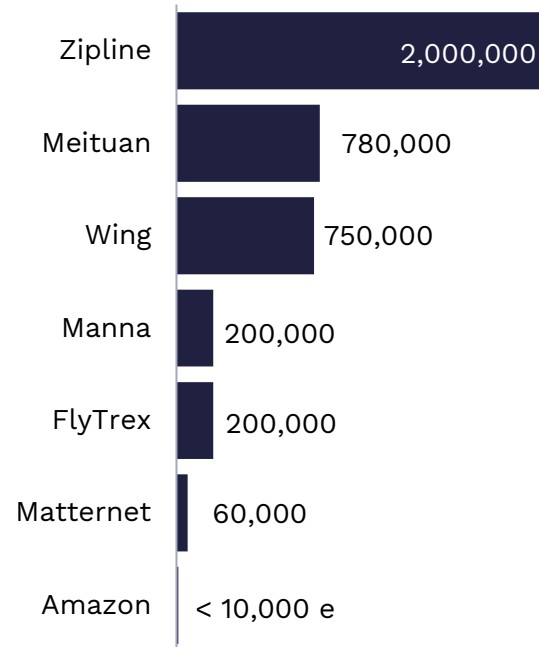


完全自動配送が現実

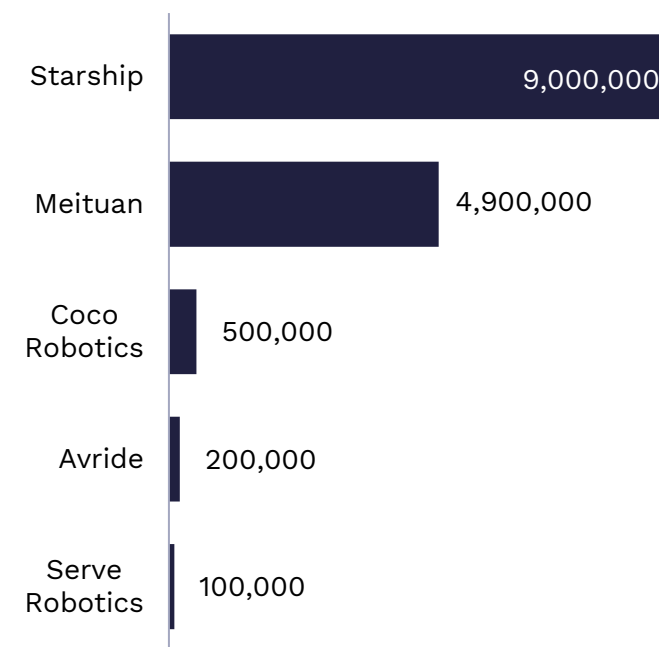
ARKの研究によると、ドローンや走行型ロボットによる完全自動のラストマイル配送は、世界全体で年間換算400万件以上の規模に達しています。一方、長距離輸送を担う自動運転トラックは米国ですでに運用が開始されており*、事業者は今後、運行ルートの急速な拡大を計画しています。自動物流の商業化においては、独自データの蓄積が極めて重要であり、安全性の検証を加速させるとともに、運用効率の向上にも寄与します。



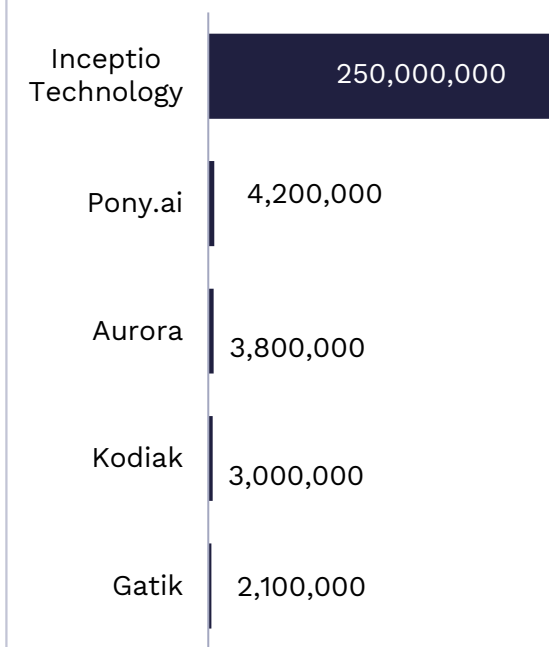
商用自動ドローン配送の累計配送件数



商用自動配送ロボットの累計配送件数



商用自動運転トラック輸送の累計走行距離 (マイル)

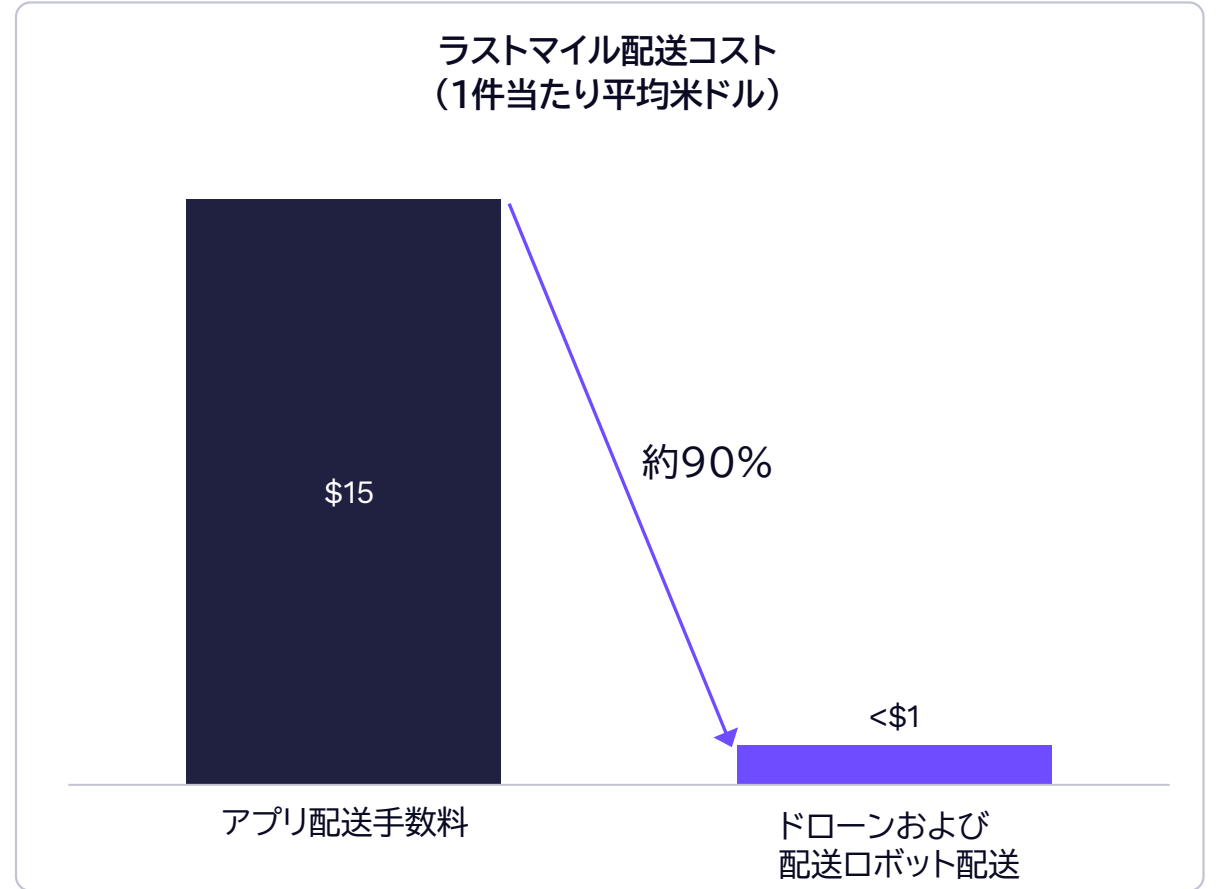
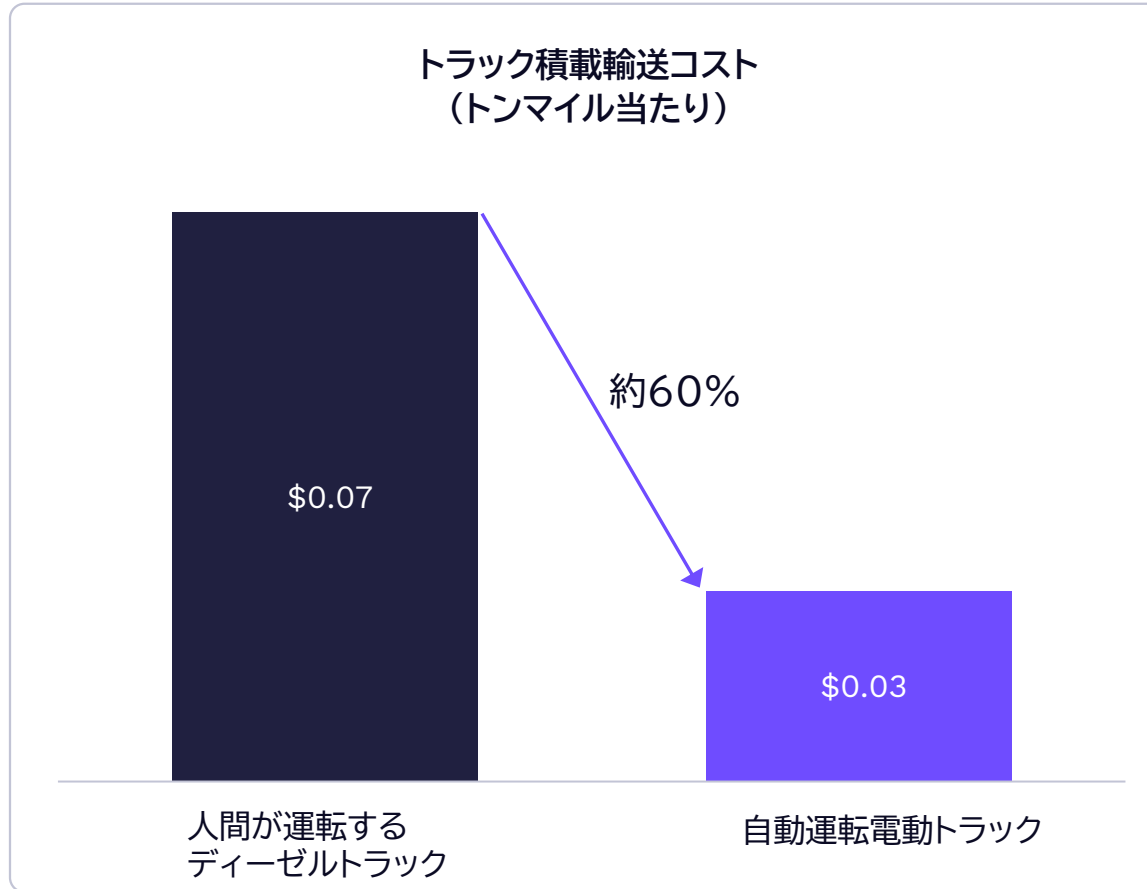


注記:*Aurora Innovationが完全無人運行を発表した後、Auroraの顧客であるPACCARは、ベース車両に試作部品が含まれていることを理由に、運転席への同乗者配置を要請しました。Aurora Driverは引き続き車両の運行を担い、この変更は、2026年第2四半期におけるパートナー指定の監視員を伴わない無人運行の拡大を含む同社のドライバーレス開発計画に影響を与えるものではありません。出所:ARK Investment Management LLC, 2026年。Starship(2025年)、Inceptio Technology(2025年)、BusinessWire(2025年)のデータに基づいています。なお、一部の情報はARKの内部分析に基づくものであり、追加の情報源を参照しています(2026年1月12日時点)。本資料は情報提供のみを目的としており、特定の証券の購入、売却、もしくは保有を推奨するものではありません。過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。予測には本質的な制約があり、依拠できるものではありません。



自動配送車両はサプライチェーンの配送コストを削減

自動配送車両は、消費者にとっての配送コストを大幅に引き下げ、配送の利用頻度をさらに高めると考えられます。

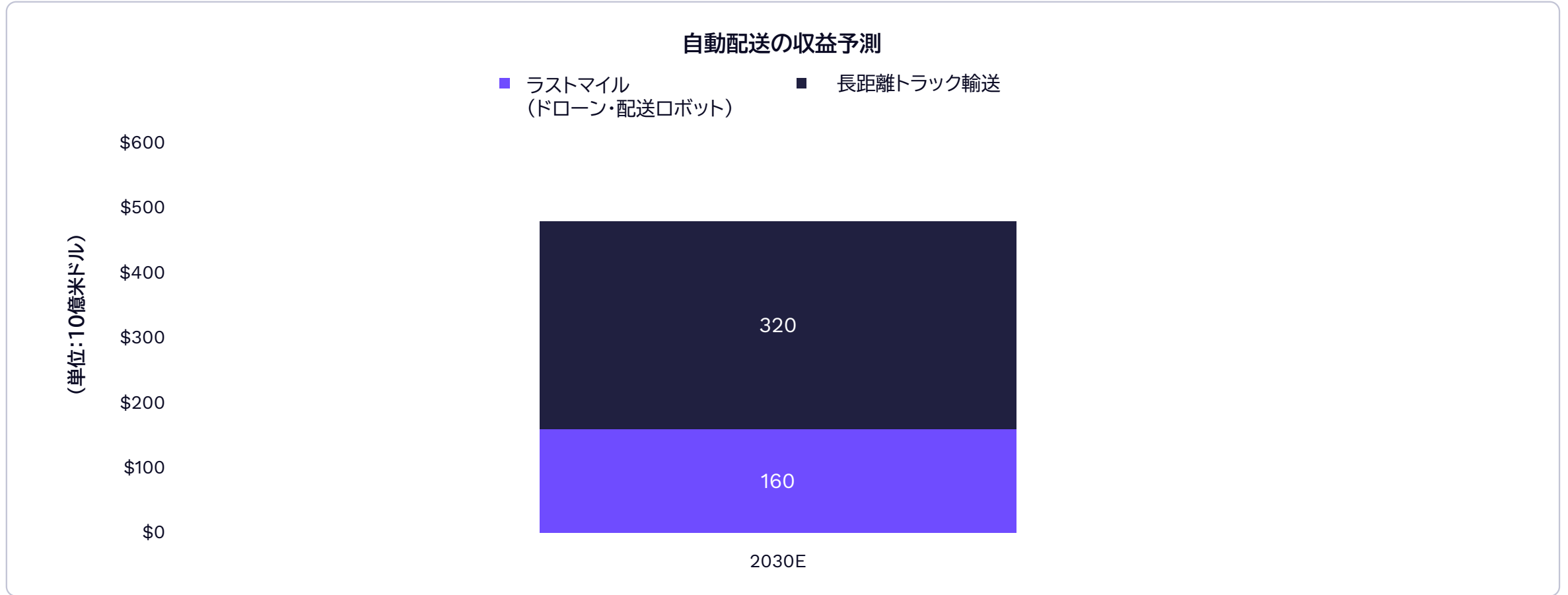


注記:コスト低下率は5%刻みで四捨五入しています。出所:ARK Investment Management LLC, 2026年。Self(2025年)、Aurora(2025年)、The State Council, The People's Republic of China(2025年)のデータに基づいています。なお、一部の情報はARKの内部分析に基づくものであり、追加の情報源を参照しています。本資料は情報提供のみを目的としており、特定の証券の購入、売却、もしくは保有を推奨するものではありません。過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。予測には本質的な制約があり、依拠できるものではありません。



自動配送の収益は2030年までに世界で4,800億米ドルに達する可能性

配送コストの低下が続くにつれ、自動配送は消費者の購買行動を大きく変えていく可能性があります。当社の調査によると、自動配送の収益は2030年までに世界で4,800億米ドルに達する可能性があります。一方で、規制環境や、荷物の積み込みなどバックエンド業務の自動化の進展が、重要な制約要因となると考えられます。



出所: ARK Investment Management LLC, 2026年。Emarketer(2025年)、OECD Data Explorer(2024年)、Pitney Bowes(2024年)のデータに基づいています。なお、一部の情報はARKの内部分析に基づくものであり、追加の情報源を参照しています。本資料は情報提供のみを目的としており、特定の証券の購入、売却、もしくは保有を推奨するものではありません。過去の実績は将来の成果を示唆するものではありません。予測には本質的な制約があり、依拠できるものではありません。